

ロケットエンジンを作ったことはありますか？

ロケットエンジンを**作ってみたい**と思ったことはありませんか？

ROCKET PROPULSION ELEMENTS
GEORGE P. SUTTON 望月昌 監訳

ROCKET PROPULSION ELEMENTS

ロケット推進工学
6th Edition

GEORGE P. SUTTON
望月昌 監訳

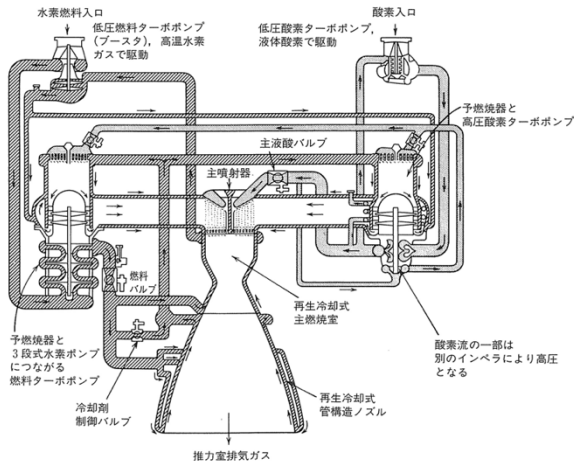


1949年に初版が発行されて以来すでに70年弱、
いまなお改訂版(第9版 2017年発行)が出されるロケット
とロケットエンジンに関する最も価値のある本です。

1994年に発行された日本語版は発行部数が少なくほぼ
幻の本と化していました。ここに再刊します。

もしあなたがロケットとエンジンを学んでいくならば、
終生最初に問いかけ、読み返す本、
となることでしょう。

2段燃焼サイクルでは、冷却ジャケット内の冷却液の流路はエキスパンドサイクルと同じである。ここでは、高圧の予備燃焼室(ガス発生器)が高いエネルギーのガスをタービンに供給するため、燃料の全部を酸化剤の一部とともに燃焼させる。タービン排気ガスの全量は主燃焼室に噴射され、そこで残りの酸化剤と燃焼する。このサイクルは予備燃焼室があるので高燃焼室圧の作動に向いており、小さい燃焼室サイズが可能である。燃料および酸化剤双方のポンプ吐出圧は、予備燃焼室とタービンでの圧力降下分があるため、開サイクルのものよりずっと高くなり、これはまた、より重く複雑なポンプ、タービンおよび配管などを必要とする原因となる。このサイクルは最高の比推力を出すことが可能である。このサイクルの一変形が、図7-1と図7-4に示すスペースシャトルの主エンジンに使われている。このエンジンは、実際には2個の別々の予備燃焼室を持っており、それぞれが別々の主ターボポンプの上に直接取り付けられている。



ロケット推進工学 日本語版(英語版第6版相当)

予価 5000円 約 600ページ 発行:風虎通信

2018年夏コミックマーケットで紙版頒布開始

8月12日 東2ホール W59ab 風虎通信

■通販は8月、ComicZinより頒布予定。電子版は18年秋、角川書店

Book☆Walker(<https://bookwalker.jp>)より配信予定。